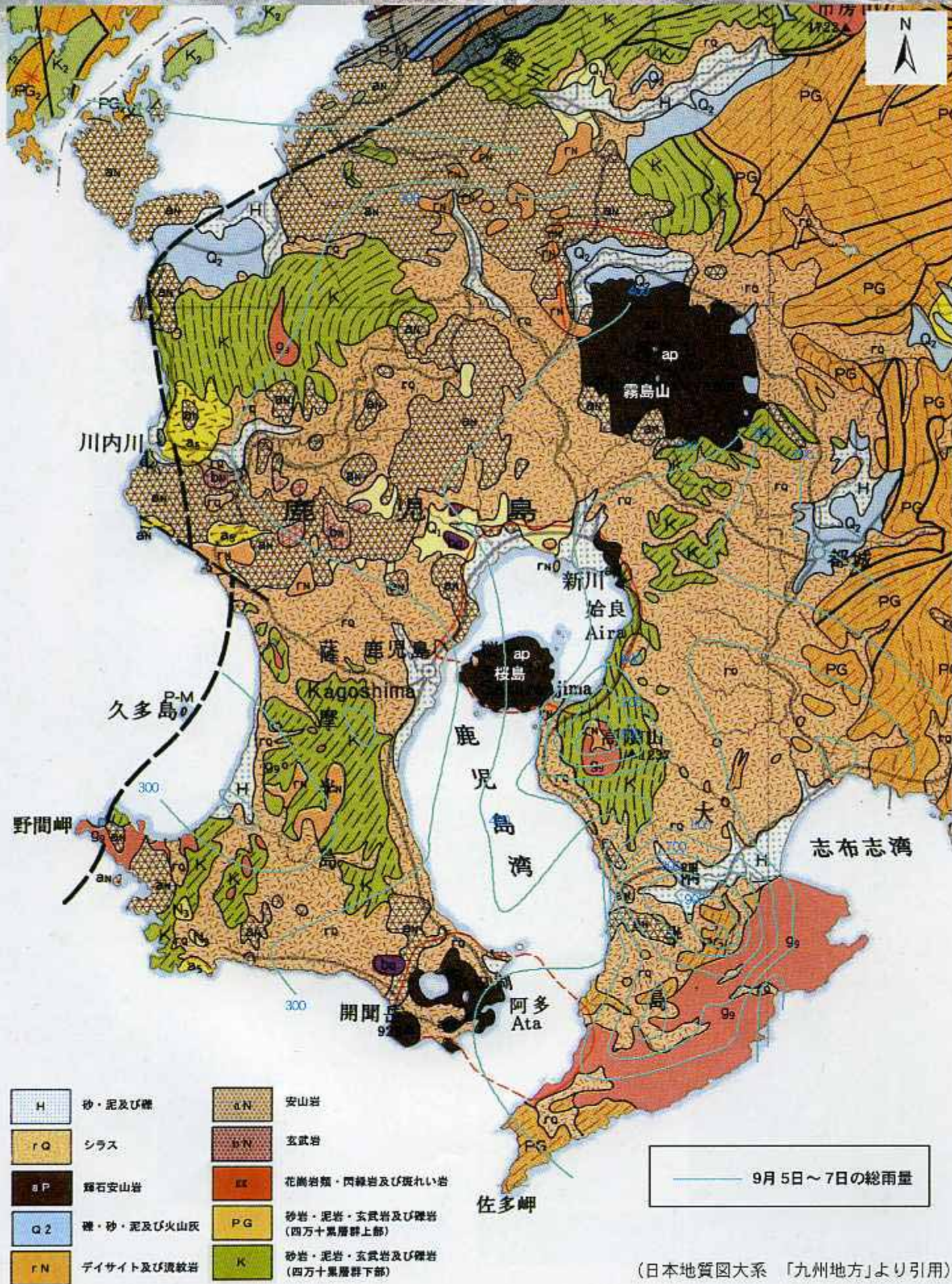
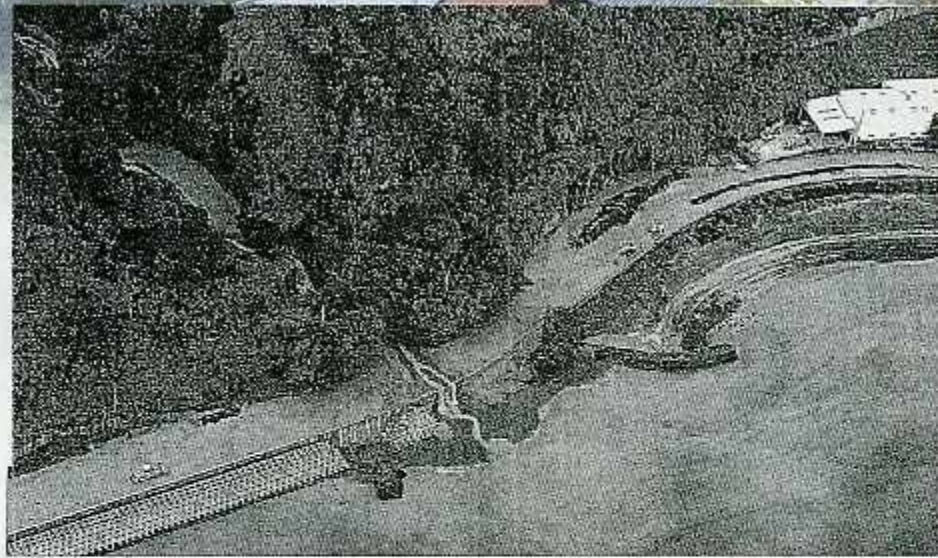


鹿児島県の地質





(毎日新聞
平成17年9月9日付)

9集落なお孤立

垂水土砂災害

緊急車は通行可能

220国道 復旧見通し立たず



奥れ込みの土砂で埋まる垂水市街の道路とガソリンスタンド

【本紙記者取材】山形県垂水市で発生した土砂災害で、220号国道が復旧の見通し立たず、9集落が孤立している。緊急車両は通行可能だが、住民の生活は大きな支障を来している。土砂災害は、9月7日午後10時ごろ、垂水市街の山側で発生。土砂は急斜面を滑り落ち、国道220号を完全に遮断した。土砂の厚さは最大約10メートルに達した。土砂災害発生後、消防や警察が緊急車両の通行を確保したが、住民の生活は大きな支障を来している。土砂災害発生後、消防や警察が緊急車両の通行を確保したが、住民の生活は大きな支障を来している。

台風14号県内 つめ跡生々しく



(毎日新聞
平成17年9月8日付)

全域に被害
19人死傷、124棟全半壊
垂水市 復旧に住民ら汗

【本紙記者取材】台風14号の被害が県内各地に広がっている。山形県では、9月7日午後10時ごろ、垂水市街で発生した土砂災害で、220号国道が完全に遮断され、9集落が孤立している。土砂災害発生後、消防や警察が緊急車両の通行を確保したが、住民の生活は大きな支障を来している。土砂災害発生後、消防や警察が緊急車両の通行を確保したが、住民の生活は大きな支障を来している。



台風14号 地盤緩み警戒継続



(毎日新聞
平成17年9月7日付)

死者不明5人、自主避難1889世帯
【本紙記者取材】台風14号の被害が県内各地に広がっている。山形県では、9月7日午後10時ごろ、垂水市街で発生した土砂災害で、220号国道が完全に遮断され、9集落が孤立している。土砂災害発生後、消防や警察が緊急車両の通行を確保したが、住民の生活は大きな支障を来している。土砂災害発生後、消防や警察が緊急車両の通行を確保したが、住民の生活は大きな支障を来している。



被災状況 (人的被害が発生した土石流)

■垂水市 小谷地区 (土石流危険渓流) 【小谷第一小川】

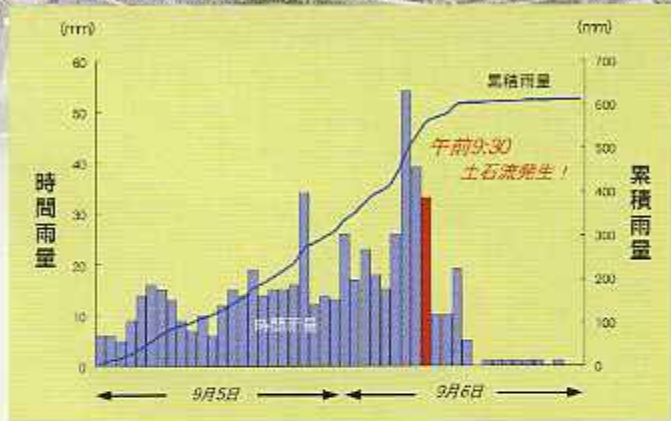
斜面崩壊2箇所に伴う土石流が発生し、約1,800m³の土砂が流出。3名の命が奪われたほか、全壊6戸、一部損壊2戸、床下浸水4戸、非住家7戸が被災。



流域内の山腹崩壊



■土石流発生時の降雨状況



上流の土石流流下痕



■被災箇所の位置



被災前 (平成12年12月)



被災後 (平成17年9月)



被災状況 (人的被害が発生した土石流)

■垂水市 新御堂地区 (土石流危険渓流) 【上ノ宮第2小川】

斜面崩壊2箇所に伴う土石流が発生し、約4,000m³の土砂が流出。1名の命が奪われたほか、全壊2戸、半壊1戸、床上浸水1戸、非住家4戸が被災。

